

# なかつか 亮



2011年10月16日(日)  
NO334  
区議控室 Tel 5742-6818  
事務所 大井3-19-7-101  
Tel 3773-3231

## 視覚障害者の生活支援 決算特別委員会にて 図書館、区役所の封筒 点字ブロック改善を



視覚障害者と大井町駅前を現地調査。写真はきゅりあん入口辺り

今年の8月末、共産党は品川区視覚障害者福祉協会（視障協）と懇談会を開催。

品川区議会では10月3日から決算特別委員会※（解説）が開かれています。共産党は、区民アンケートや各種団体との懇談会で寄せられた要望をもとに、その実現を求め、丁寧に区議会に取り上げていきます。その中で、今週のニュースでは視覚障害者の生活支援を紹介します。

### ※決算特別委員会とは — 議会用語のミニ解説 —

前年度予算の執行状況を審査する委員会のこと。昨年度の決算審査を通じ、来年度の新年度予算編成を方向づけます。

委員会は午前10時から始まり、終了は夕方6時ぐらい。2名の監査を除く区議全員と区長、教育長及び担当部長が出席します。発言は、順番に従い、手を上げ、起立し、持ち時間内でマイクを使って質問。運営に動議が出ると夜遅くなることも…。共産党は切実な住民要望の実現に元気に奮闘中です。

就労や生活、移動への支援充実と切実な要望が出されました。点字ブロックやエスコートゾーンなどの改善は、懇談会の席上だけでは良くわからないので、後日、視覚障害者と一緒到大井町駅を歩き、現地で説明を受けました。（上写真）裏へ

これら要望を元に、10月5日決算特別委員会「民生費」にて、視覚障害者の支援充実を取り上げました。

## 図書館に

### 視覚障害者職員を

まず取り上げた事は、図書館での視覚障害者の職員採用です。今年3月末、図書館で働いていた視覚障害者の職員が定年退職。これを機に、品川区で働く視覚障害者が0人になりました。視障協は「情報文化のバリアフリーを図る、図書館から視覚障害者の職員が居なくなり、とても残念」と訴えます。

点字本の導入などを進める区立図書館は、視覚障害者にとって、生活を豊かにするための情報や知識、文化を学び、生きがいを見つけることができる貴重な施設です。昨年度まではたった一人ですが、視覚障害者の職員を中心に当事者の視点にたった図書館運営の改善を進め、同じ視覚障害者からも「障害があるが故の苦労もわかってもらえるので、なんでも相談しやすい」との声があがっていました。

視覚障害者の図書館での採用を求めました。品川区は「障害者の雇用拡大は大切」と答弁するものの、「視覚障害者の職員が居なくても、同じ姿勢で図書館を運営していきたい」と述べるに留まりました。

### 区役所の封筒、点字ブロックの改善

また区役所から郵送される郵便物や点字ブロック、音響信号の改善、エスコートゾーン設置を求めると品川区は、「寄せられている要望を十分に検討したい」と答弁しました。

今後も障害のあるなしに関わらず誰もが安心して生活できる品川区を求め頑張ります。なかつか亮

# これでいいのか、小中一貫校！？

## 第2回小中一貫教育と統廃合を考える全国交流集会在開催



9月25日（日）、明治学院大学にて小中一貫校の問題をテーマに全国交流集会在開催。当日は子どもの成長に合わないカリキュラム、運動会に象徴される無理な学校行事、統廃合による子どもの影響など、幅広い議論が行われました。また当日のテーマを中心に編集された「これでいいのか 小中一貫校 一危うい実験を多角分析」新日本出版社の出版発表も行われました。

### 今月の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

10月28日（金） 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所  
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください  
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**